

ご意見募集！

広報誌をより良くしていくためにみなさんからのご意見を募集しています。ご意見をお送りいただいた方の中から抽選で3名様に日南町の特産品をプレゼントいたします。

送り先：〒689-5292 日南町役場 企画課 広報担当

手紙、はがきに①住所②お名前③電話番号④ご意見・ご感想をご記入の上、企画課まで郵送またはお持ち込みください。みなさんからのご意見お待ちしております！（※メールでは受けつけておりませんのでご注意ください。）

今月の
表紙

「穏やかな新年を願い 丹精込めて」

1月号は、福栄しめ縄同好会についてご紹介します。



上段：渡邊静香さん・渡邊幸さん
下段：福田長歳さん・河上仁美さん・蘆尾勝美さん
このほかのメンバー：福田憲一さん（取材当日不在）

ふくさかえ なわ どう こう かい 福栄しめ縄同好会

福栄しめ縄同好会は平成22年に発足し、現在は6人のメンバーで活動している。それまでは個々にしめ縄作りを行っていたが、同好会発足後は旧福栄小学校に集まり、毎年正月に向けてしめ縄作りの作業を行っている。

現在は、日南町内をはじめ米子市や境港市などの鳥取県西部や、島根県・隠岐の島にもしめ縄を出荷している。以前は他市町村にもしめ縄作りを行うグループ等が存在したが、高齢化により減少したため、多くの地域からの注文を受けて製作に勤しんでいる。

「年寄りが寒いところで作業しとったと書いて！」と笑いながら温かく迎えてくださったみなさん。「安く売っているので儲けにはならないが、ボランティアと趣味みたいなもの」（河上仁美さん）「家にいてじっとしていても元気が出ない。みんなで寄って話をしながら作業するのが楽しい」（渡邊幸さん）「昔の話をしながら作業している」（福田長歳さん）と、みんなで集まってしめ縄作りの作業を行うことをみなさんが楽しんでいる様子でした。

日本のお正月に欠かせないしめ飾り。福栄しめ縄同好会では、車用の小さなものから神社に飾り付ける5～6メートルほどの大きなものまで注文を受けて製作しており、材料はすべて地元・福栄産の稲わらを使用しています。境港市や隠岐の島に出荷するものの中には、船に付けるしめ縄もあるのだそうです。

後継者を育てるのはなかなか難しく、「そういう時代になって寂しい」「今の人は、こういう風に昔からのやり方で作った手のかかるものを飾るということに対して関心が少なくなってきたように思う」と話すみなさん。何でも売っている便利な時代になりましたが、温もりと美しさ、込められた思いは、手作りのものに勝るものはないのではないでしょうか。

技術を伝え、伝統を守る人たちの姿を知り、目の前で丹精込めてひとつひとつ作られていくしめ縄を見れば、新年を迎えるにあたり背筋が伸びるような思いがしてきます。



壁に飾られたしめ縄の見本。
地域によって形や飾りが異なる。



福田長歳さんお手製の道具。
「特許出願中！（笑）」と蘆尾さん。



出荷を待つ完成したしめ縄。

